

SIMI

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

Social Impact Management Initiative

2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価を広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。

～12の目標と38のアクション～

第10回全体会合

2020年2月26日

1. タイムスケジュール

司会：鴨崎 貴泰（日本ファンドレイジング協会）

18:30-19:00

第1部：各WG・TF報告、今後の計画について

18:30-18:45

- ・ 資金提供者WG、評価事業者WG、企業エンゲージメントWG
- ・ 新設WGについて
- ・ 広報TF、ガイドライン・ツールTF、ウェブサイト・リニューアル等
伊藤枝里子（Social Value Japan）

18:45-19:00

- ・ 事例蓄積・活用WG
- ・ 社会的インパクト・マネジメント・アワード
高木麻美（EY新日本有限責任監査法人）

19:00-19:05

休憩

19:05-20:30

第2部：2020年以降のビジョン策定について

今後のプラン

今田克司（CSOネットワーク）

Beyond2020WG

伏見崇宏（C4）

20:00-20:30

ディスカッション

20:30

閉会

SIMI

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

Social Impact Management Initiative

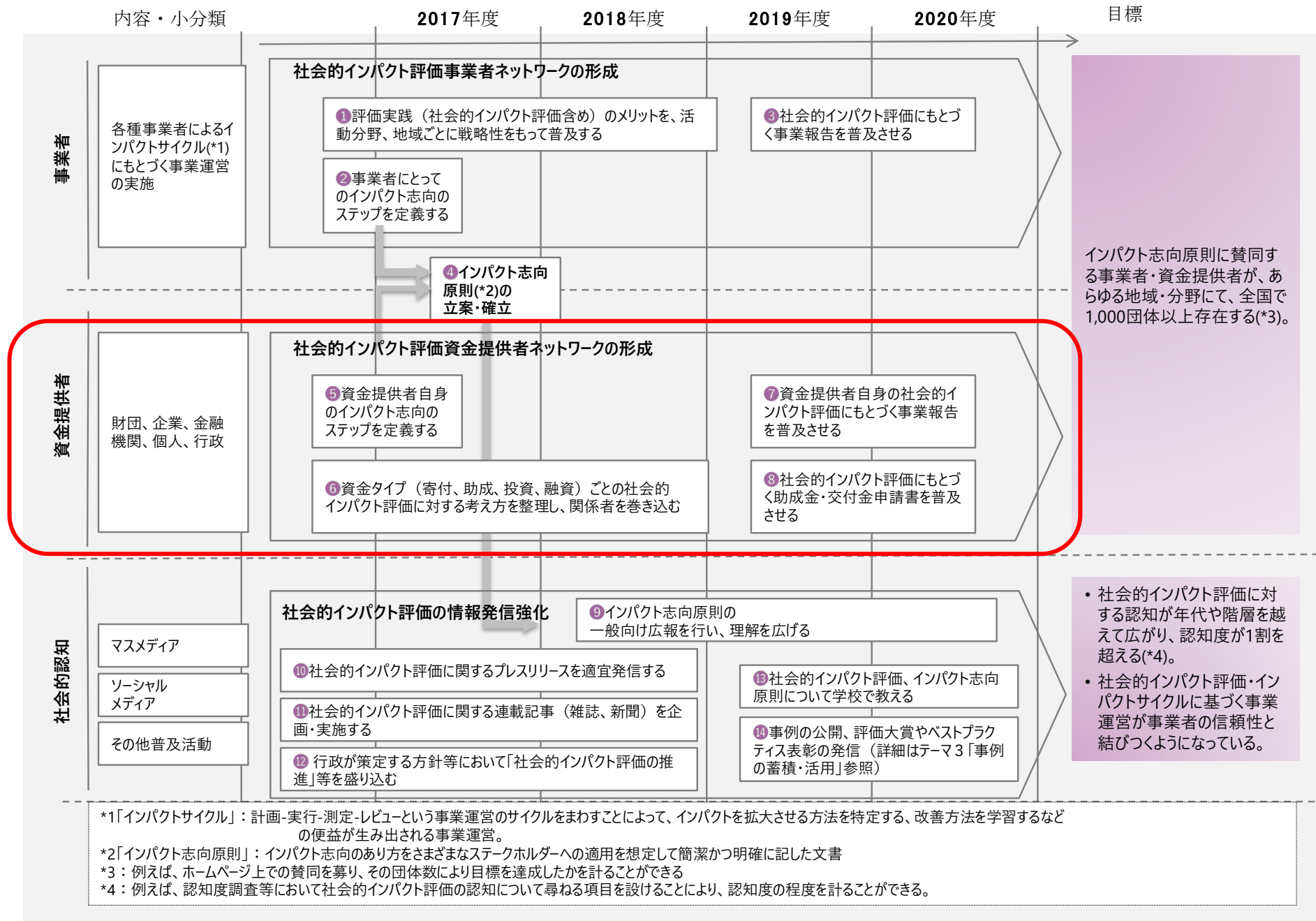
2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価を広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。

～12の目標と38のアクション～

資金提供者WG

1. ロードマップ



振り返りと今後のイベント計画

振り返り

2019年9月26日 第一回 「資金提供者の社会的インパクト・マネジメント・セミナー」実施

【実施概要】

- ・ 日時：2019年9月26日（木）13:00～15:00
- ・ 場所：日本財団ビル2階会議室3
- ・ 主催：社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（SIMI）
- ・ 共催：日本財団CANPANプロジェクト
- ・ 協力：一般財団法人 社会的投資財団（当時。現社会変革推進財団）

【内容】

- ・ インパクト志向に基づく事業づくり、事業評価やマネジメントに興味関心を持っている金融機関や助成財団等の資金提供者様を対象に、インパクトマネジメントの考え方や活用についてセミナーを開催。
- ・ 事例として、新生企業投資のインパクト投資ファンド、JPモルガン助成プログラムの事例を紹介。
- ・ 20名参加し、資金提供者としてのインパクトマネジメントの重要性について活発なQ&Aが行われた。

今後のイベント計画

2020年3月19日 第二回 「資金提供者の社会的インパクト・マネジメント・セミナー」

【実施概要】

- ・ 日時：2020年3月19日（木）14:00～16:00
- ・ 場所：日本財団ビル2階会議室4
- ・ 主催：社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（SIMI）
- ・ 協力：一般財団法人社会変革推進財団

【内容】

- ・ 第一回目を踏襲
- ・ 事例として、キャピタルメディカ・ベンチャーズ（CMV）の医療系投資を例を紹介。
- ・ CMV出資先の(株)ヒューマンアルバ（依存症患者の社会復帰支援）、Trim(株)（街中の授乳ボックス運営）の事例を紹介へ

3月19日 資金提供者のための社会的インパクトマネジメントセミナー アジェンダ(案)

14:00	オープニング (SIMIの紹介) 一般財団法人社会変革推進財団 織田 聡 (SIMI資金提供者WGメンバー)
14:05	社会的インパクト・マネジメントとは 一般財団法人社会変革推進財団 小柴 優子 (SIMI資金提供者WGメンバー)
14:20	資金提供者から見た社会的インパクト・マネジメントの意義と有用性 株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ 代表取締役 青木 武士氏
14:40	投資先から見た社会的インパクト・マネジメントの意義と有用性① 株式会社ヒューマンアルバ 共同代表 代表取締役 上野 聡太氏
14:55	投資先から見た社会的インパクト・マネジメントの意義と有用性② Trim株式会社 代表取締役 長谷川 裕介氏
15:10	休憩
15:15	パネルディスカッション
15:40	Q&Aセッション
15:55	クロージング
16:00	終了

SIMI

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

Social Impact Management Initiative

2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価を広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。

～12の目標と38のアクション～

評価事業者WG

1. ロードマップ

テーマ2 インフラ整備

テーマ小分類	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	目標
評価人材の育成	● 要件整理 以下の事項を整理 - 育成したい人材像(必要な知識・スキル) - 社会的インパクト評価に関連する既存研修	● 研修提案 -カリキュラム -教材開発 教材開発の イプット	● 基礎研修について実施機関と情報交換・連携 社会的インパクトマネジメントの理解・実践に有用な基礎的な知識、スキルに関する研修	● 実践研修について実施機関と情報交換・連携 社会的インパクトマネジメントを実践する上で必要な応用的な知識・スキルに関する研修等	・各組織が実施する基礎研修を全国で1,000名が修了し、100名が実践研修を修了している。
	● 要件整理 - 目的/評価の利用者 - 分野 - 規模 - 時間軸	● ガイドライン、具体的手引きの開発	● 実践を通じた検証・改訂 ※評価事例蓄積との連携	人材情報	・インパクト志向原則に同意した団体のうち80%でガイドライン・手引きが活用され、事業管理が改善している。 ・NPO法の20分野(例)で共通的な指標が整理、活用されている。
	● 分野毎に共通的なアウトカム・指標の整理 (※2018年6月時点で教育、就労支援、地域まちづくり等の8分野で作成済) 新規3分野作成	新規4分野作成	既存分野の改訂 ユーザビリティの向上等	新規4分野作成(予定) ガイドライン・ツール情報	・インパクト志向原則に同意した資金提供者のうち90%で評価コストの支援がある。 ・評価支援基金が設立され支援が行われている。
評価手法の確立	● 要件整理 - 評価に係るコストの整理 - 支援範囲の整理 - 支援方法の検討 ※基金は官民のマッチングファンドを想定	● 資金提供者による評価実施費用の助成対象費用への繰入/団体内での自己評価体制構築への助成の実施		● 基金運用	・インパクト志向原則に同意した資金提供者のうち90%で評価コストの支援がある。 ・評価支援基金が設立され支援が行われている。
	● 詳細制度設計 ※事業者と評価支援者のマッチングの仕組み含む	支援者情報			
	● コンテンツの継続的更新(事例、評価支援組織・人材、評価ツール、オープンデータノズ) (詳細はテーマ3「事例の蓄積・活用」参照)	● 運営体制確立			
評価支援体制の整備	● 評価実践者のピア・ネットワーク構築	● ピア・ネットワーク内での評価支援の実施 ※リソースセンターにアップロードされた事例等へのオンラインでのコメント、レビューを想定。			・リソースセンターに1,000件の評価事例がアップロードされている。 ・ピアネットワークに1,000名が参加し、累積で5,000件のレビューが行われている。
	● リソースセンター(Webサイト)の整備				
	● 支援体制の整備 ※実践者が支援者になる仕組みづくり				

目的

- 各事業者の活動や、社会的インパクト・マネジメントのエコシステムの発展に資する。
 - ① 社会的インパクト・マネジメントの質の向上
 - ② 社会的インパクト・マネジメント実践者の増加

対象

1. 社会的インパクト・マネジメントのコンテンツ・ホルダー
 - ① 社会的インパクト・マネジメント研修
 - ② 社会的インパクト・マネジメント支援・コンサルティング
2. 社会的インパクト・マネジメントを実践する事業者

目標

- SIM人材養成、スキル向上の為の実践研修の情報整理、公開
- 基礎研修の受講者数促進、質の担保のための施策を実行
- 今後の社会的インパクト・マネジメントのニーズが見込める団体との連携検討
- 海外の組織・事業者との連携、先進事例の情報収集

2019年度

活動内容

1. 研修のリストアップ及びウェブサイトでの公開
2. 関連書籍・論文のリストアップ及びウェブサイトでの公開
3. 事業者の情報集約及びウェブサイトでの公開
4. ロスター登録制度の実施
5. ネットワーキングにおける情報共有及び勉強会の開催

次回のネットワーキング・セミナー開催概要

- 開催時期：2020年4月（予定）
- 開催内容：社会的インパクト・マネジメント研修を提供する事業者による、各研修コンテンツの紹介・情報共有
- 参加対象：社会的インパクト・マネジメントを実践する非営利組織・企業等、研修コンテンツホルダー

SIMI

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

Social Impact Management Initiative

2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価を広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。

～12の目標と38のアクション～

企業エンゲージメントWG

SIMI

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

Social Impact Management Initiative

2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価を広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。
～12の目標と38のアクション～

新設WGについて

SIMI

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

Social Impact Management Initiative

2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価を広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。
～12の目標と38のアクション～

普及・広報TF

1. ロードマップ

テーマ1 文化醸成



*1「インパクトサイクル」: 計画-実行-測定-レビューという事業運営のサイクルをまわすことによって、インパクトを拡大させる方法を特定する、改善方法を学習するなどの便益が生まれ出される事業運営。

*2「社会的インパクト志向原則」: 社会的インパクト志向で事業や活動を実施するための基本的なきまり

*3: 原則への署名団体数により目標を達成したかを計る

*4: 例えば、認知度調査等において社会的インパクト評価の認知について尋ねる項目を設けることにより、認知度の程度を計ることができる。

<2019年度活動と実績>

1. イベント・講演など社会的インパクト評価の認知を促進する場の創出
各セクターのニーズに基づいたセミナーの企画や、外部イベントの登壇、地方で開催されるセミナーへの講師派遣などを通じて、周知啓発を図る

【東京での開催】

社会的インパクト・マネジメント・セミナー

①第3回入門講座（NPO編） 2019年9月2日（月）夜 約80名

②第4回入門講座 2020年3月23日（月）夜

※2020年5月か6月にもう1回開催予定

【地域のセミナーへの講師派遣プログラム】

①愛知県名古屋市 2019年8月31日（土）午後 51名

主催：愛知県／NPO法人ボランティアネイバーズ

②長野県松本市 2019年9月30日（月）午後 38名

主催：公益財団法人長野県みらい基金

③宮城県仙台 2019年10月4日（金）午後 17名

主催：宮城県(みやぎ NPO プラザ)／認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる

④北海道旭川市 2019年10月4日（金）夜 25名

主催：北海道NPOサポートセンター

※2020年度も同様に実施予定

<2019年度活動と実績>

2. 社会的インパクト評価を活用するメリットの可視化

他のWGと連携して、参考となる事例をコンテンツ化することで、可視化したメリットを、認知促進に役立つ伝わりやすいメッセージに落とし込む

⇒入門講座の開催報告をコンテンツとしてアップ

⇒現在、SIMIのパンフ（簡易版）を作成中

⇒今後は、各WGの成果物を活用して、コンテンツ化を目指す

3. マスメディアやソーシャルメディアを通じた発信

事業者・資金提供者（企業CSR等）の発信活動を支援することで、これから社会事業に取り組む層や、一般の人の認知を高める（同心円型認知）

⇒Webサイトをリニューアル予定

⇒アワード事業等を通じて、マスメディアへの発信を行う

4. 事例の公開、評価大賞やベストプラティス表彰を通じての認知向上

事例蓄積WGと協力しながら、イベントやコンテンツを通じて、広く情報提供を行うことで、認知してもらうきっかけづくりを行う

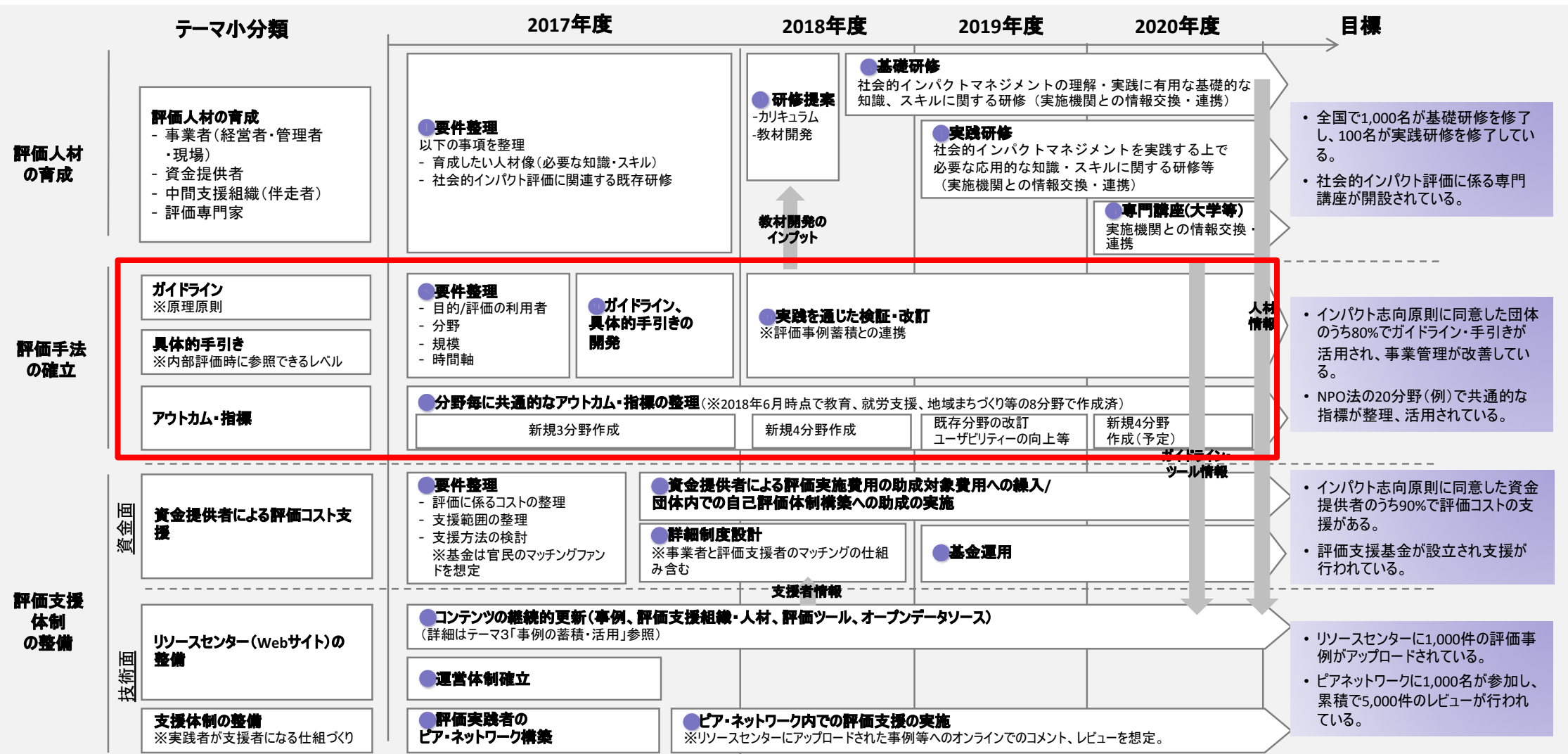
⇒アワード事業と連動して、企画を行う

ガイドライン・ツール改編TF

旧アウトカム・指標WG、ガイドラインWG

1. ロードマップ

テーマ2 インフラ整備



1. 開発済みツールセットのウェブ化に伴う改訂作業（次項以降参照）
 - ロジック・モデル、指標・測定方法の再確認
 - 尺度の信頼性・妥当性、使い方に関する情報の追加
 - 掲載している尺度等が無許可使用に抵触していないかの再確認
2. SIMIのウェブサイトの改修を絡めたユーザビリティ向上分野横断的な指標・測定方法の整理および検索機能（キーワード、分野、ステークホルダー）の開発（次項以降参照）
3. 社会的インパクト・マネジメントの視点を反映させた実践ガイド（仮名）の開発
既存の実践マニュアルと社会的インパクト・マネジメント・ガイドラインVer.1を統合版のイメージ

サイトマップ (仮)

お問い合わせ

メーリングリスト登録

Facebook

English

ホーム

NPO・事業者の方へ

資金提供者の方へ

企業の方へ

ガイダンス用

私たちについて

- 趣旨・目的
- 背景・沿革
- 運営グループ・事務局
- 運営メンバー・賛同メンバー
- ロードマップ・Beyond20
- Social Impact Day
- アワード

お知らせ

- お知らせ
- SIMIの活動（全体会合、WG、TF）
- SIMI主催のイベント・セミナー・研修
- SIMI後援のイベント・セミナー・研修

社会的インパクトについて

- 社会的インパクトとは
- 社会的インパクト・マネジメントとは
- 社会的インパクト評価とは
- 社会的インパクト投資とは
- ガイダンス文書（志向原則・フレームワーク・ガイドライン）

事例集・ライブラリー

- 国内事例
- 海外事例
- SIMIレポート
- 参考レポート

検索機能をつける

SIM実践ガイドとツール

- 実践ガイド（既存のマニュアルを更新）
- ロジックモデルの例示
- アウトカム・指標データベース、測定方法の例示（既存ツールセットのWeb化）

検索機能をつける

サポート

- 社会的インパクト・マネジメント・アドバイザー・評価事業者一覧
- 研修事業者一覧

検索

分野

- すべて
- 就労支援
- ホームレス支援
- 教育
- 環境教育
- 地域・まちづくり
- 防災
- スポーツ
- ・
- ・
- ・

ステークホルダー

- すべて
- 子ども・若者
- 高齢者
- 地域
- ホームレス（元ホームレスを含む）
- ・
- ・
- ・

利用方法

まず、左側の「分野」または「ステークホルダー」の・・・

用語解説

- ・ 指標の妥当性
- ・ ・ ・ ・ ・
- ・ 指標の信頼性
- ・ ・ ・ ・ ・

ボックスにチェックを入れたら画面②になる
(詳細アウトカム一覧が表示される)

検索

分野

- すべて
- 就労支援
- ホームレス支援
- 教育
- 環境教育
- 地域・まちづくり
- 防災
- スポーツ
- ・
- ・
- ・

ステークホルダー

- すべて
- 子ども・若者
- 高齢者
- 地域
- ホームレス（元ホームレスを含む）
- ・
- ・
- ・

詳細アウトカム

安心して寝泊りできる場所の確保
アウトカムのカテゴリ：住居の確保

詳細アウトカム名

指標

・現在の生活場所

指標名

就労意欲の維持・向上

アウトカムのカテゴリ：教育・就労の機会を得る

指標

・○○○

希望する仕事（働き方）での就労

アウトカムのカテゴリ：教育・就労の機会を得る

指標

・○○○

生活満足度の向上

アウトカムのカテゴリ：生活満足感・自己肯定感

指標

・○○○

この場合は「ホームレス支援」かつ「ホームレス」のタグがついている詳細アウトカムが表示される

指標名をクリックすると画面③になる（指標の測定方法一覧が表示される）

検索

分野

- すべて
- 就労支援
- ホームレス支援
- 教育
- 環境教育
- 地域・まちづくり
- 防災
- スポーツ
- ・
- ・
- ・

ステークホルダー

- すべて
- 子ども・若者
- 高齢者
- 地域
- ホームレス（元ホームレスを含む）
- ・
- ・
- ・

指標

現在の生活場所

アウトカムのカテゴリ：住居の確保

詳細アウトカム：安心して寝泊りできる場所の確保

測定方法

アンケート

出所

特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会（2013）『生活困窮者・生活保護受給者の自立支援のための地域における包括的な支援体制の研究報告書』を一部加筆・修正

活用分野

ホームレス支援、○○○

活用可能な対象

ホームレス（元ホームレスを含む）、○○○

現在の生活場所について、該当するものを選択してください。

① 自宅（アパートなど）

② 親戚・友人宅

尺度・指標の使い方

記載なし。

尺度・指標の信頼性

記載なし。

尺度・指標の妥当性

記載なし。

アンケート

○○○について、該当するものを選択してください。

SIMI

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

Social Impact Management Initiative

2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価を広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。
～12の目標と38のアクション～

【運営事務局：ウェブサイトリニューアル】

ウェブサイトリニューアルに向けて

■背景

- 2016年6月に開設したウェブサイトをアップデート
- 「社会的インパクト評価」→「社会的インパクト・マネジメント」へ衣替えし、必要なコンテンツを追加

■コンセプト

- ① 閲覧者としてオールラウンド（全方位）を想定
- ② 特に、NPO・事業者の方が活用できる情報を掲載
- ③ 初めて「社会的インパクト・マネジメント」を知る方に役立つ

■プロジェクトの概要

- ディレクション：土岐、構築：外注
- 10月からプロジェクトを開始し、要件定義を終え、2月末現在構築中。
- リリース：4月中旬（予定）

■その他

- 併せてドメインを変更予定

サイトマップ (仮)

お問い合わせ

メーリングリスト
登録

Facebook

English

ホーム

NPO・事業者
の方へ

資金提供者の
方へ

企業の方へ

ガイダンス用

私たちについて

- 趣旨・目的
- 背景・沿革
- 運営グループ・事務局
- 運営メンバー・賛同メンバー
- ロードマップ・Beyond20
- Social Impact Day
- アワード

お知らせ

- お知らせ
- SIMIの活動（全体会合、WG、TF）
- SIMI主催のイベント・セミナー・研修
- SIMI後援のイベント・セミナー・研修

社会的インパクトについて

- 社会的インパクトとは
- 社会的インパクト・マネジメントとは
- 社会的インパクト評価とは
- 社会的インパクト投資とは
- ガイダンス文書（志向原則・フレームワーク・ガイドライン）

事例集・ライブラリー

- 国内事例
- 海外事例
- SIMIレポート
- 参考レポート

検索機能をつける

SIM実践ガイドとツール

- 実践ガイド（既存のマニュアルを更新）
- ロジックモデルの例示
- アウトカム・指標データベース、測定方法の例示（既存ツールセットのWeb化）

検索機能をつける

サポート

- 社会的インパクト・マネジメント・アドバイザー・評価事業者一覧
- 研修事業者一覧

SIMI

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

Social Impact Management Initiative

2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価を広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。

～12の目標と38のアクション～

事例蓄積・活用WG

2020年目標

多様な社会的インパクト評価事例があらゆる地域で
1000事例蓄積され、活用されている

1. 「多様な」とは？

各項目（目的、分野、地域、評価手法、評価の成熟度、組織形態、活用方法等）が幅広く網羅されていること

2. 「蓄積」とは？

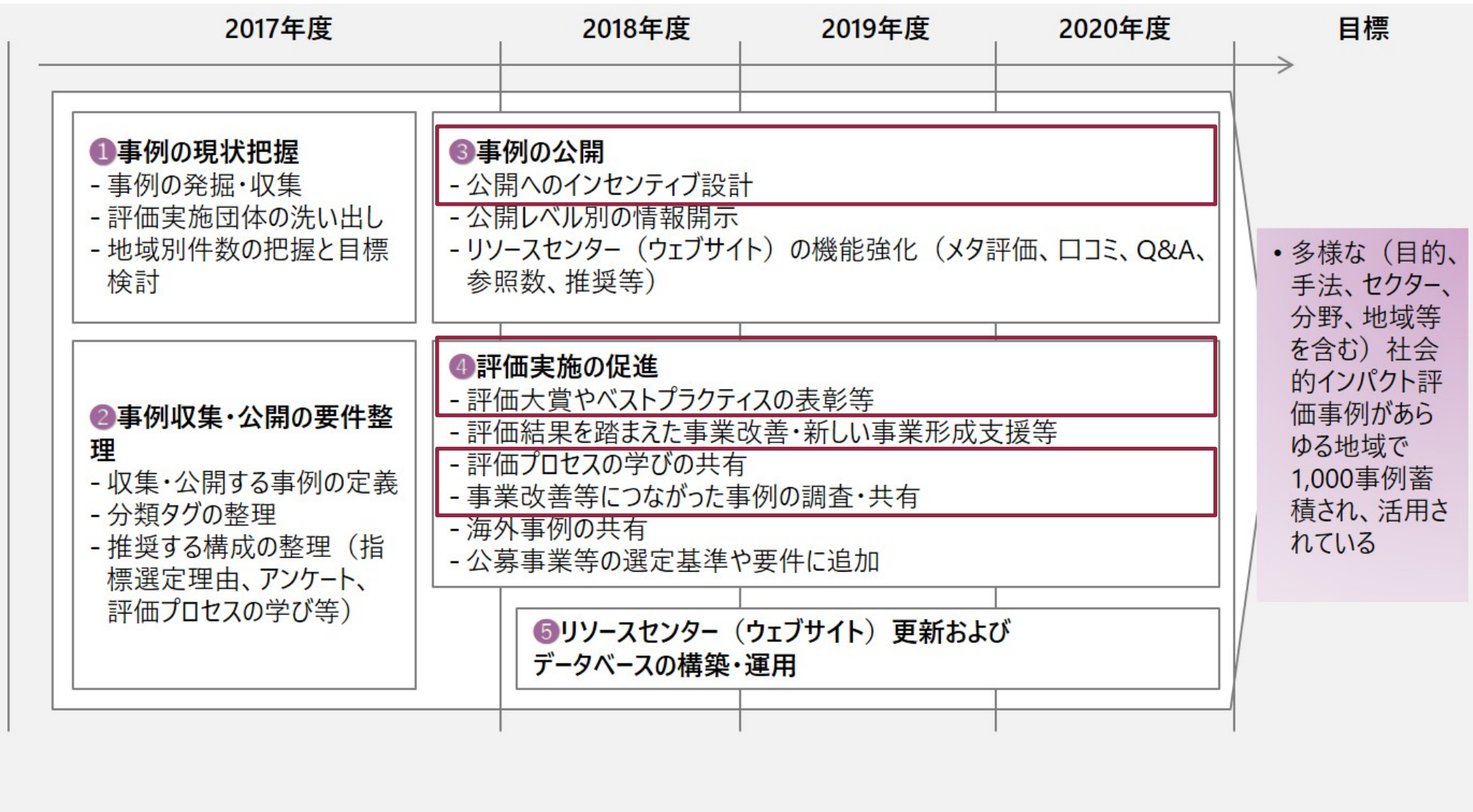
事例の各項目等が整理されてデータベースに登録されていること

3. 「活用」とは？

蓄積された事例が評価プロセスの効率化、評価品質の向上、事業改善や効果的な取組の展開、また、その先にある社会的インパクトの拡大等に利用されている状態

2. ロードマップ（社会的インパクト評価事例の事例蓄積・活用）

社会的インパクト評価事例の蓄積・活用



本年度の主なフォーカス

3. 具体的な活動内容

実施事項	概要	今年度のゴール
ケーススタディ	社会的インパクト評価をマネジメントに活用している団体にヒアリングを実施し、きっかけや実施内容、良かったこと、課題等をSIMIのHPで公開	ケーススタディを10件程度、SIMIのHPで公開
アワード	第1回社会的インパクト・マネジメント・アワード（SIMA）の企画・運営	受賞者をSocial Impact Dayにて発表

アワードタスクフォース設置

4. ご協力のお願い

1. ケーススタディ対象の推薦

ケーススタディの候補とすべき事例があればお知らせください
(自薦も含みます)

2. 事例蓄積・活用WGへの参加

ヒアリングやとりまとめにご協力してくださる方を募集しています

SIMI

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

Social Impact Management Initiative

2020年 VISION

2020年までに、社会的インパクト評価を広く社会に定着させ、社会的課題の解決を促進させます。

～12の目標と38のアクション～

社会的インパクト・マネジメント・アワード

1. 社会的インパクト・マネジメント・アワードの概要

アワードの概要

目的	事業者が実践した、優れた社会的インパクト・マネジメントの事例を社会と共有することで、社会的インパクトの創出の加速を目指すこと
種類	大きく分けて2つの賞を設置（以下、仮称） ① インパクトマネジメントアワード ② スターターアワード
応募主体	2020年4月までに、NPO・事業者・社会的企業・企業内プロジェクトにおいて、社会的インパクト・マネジメントを実践した事例 ※事例は、国内を拠点とする団体・組織が実践したものに限り。 ※応募者の法人格は問わない。
審査員	5名程度
選考方法	審査員による書類選考
集要項の公開時期・方法	2020年3月中旬（予定） ※特設ウェブサイトに掲載し、SIMIのウェブサイトおよびFacebookにて告知予定
表彰	2020年6月末開催（予定）のSocial Impact Dayにてプレゼンテーションおよび表彰

注） Social Impact Day2020の日程によって、スケジュールが変更になることがあります。

(参考) アワード副賞アイデア (一部例示)

【評価研修等への参加】

- 海外の事例を学ぶ機会 (研修、若手派遣、ウェブカンファレンス招待)
- 同様の (類似の) 実施事業の現地・現場へのご招待

【広報支援／メディア露出機会】

- サイトに大きく掲載 (団体の広報に使用できれば十分かと思います。受賞マークを作っておく、とか)
- SIMI HPや関連サイト、セミナー資料などへの掲載、紐付け (通年で)

【評価・運営等に対する支援】

- 評価・運営等に対する支援

【資金提供者・企業等への紹介／マッチング機会】

- インパクト投資に関心ある投資会社や銀行・財団とミーティングできる
- 企業とのマッチング、実施場所の提供 (フィールド提供)

【現金・助成金】 少額の寄付

【その他】 Impact Food、ポストイット1年分

カテゴリ	いただいたご意見
副賞案	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米などでのSIMI実施先進事例への訪問ツアー参加、訪問の機会提供 ・オーストラリアなどのようにハーバード大学のスタートアップ講座の受講 ・米国評価学会あるいは、関連コンファレンス参加費の支給（参加報告する） ・IMPなど海外トレーニング参加権 ・海外／国内のインパクトマネジメント研修の参加費用の負担 ・社員むけのセミナー実施？（インパクトマネジメントを理解していない社員を受賞をきっかけにどう巻き込むか？） ・他の優良事業者との交流会に際する旅費・宿泊費の提供 ・海外の事例を学ぶ機会（研修、若手派遣、ウェブカンファレンス招待） ・評価人材育成にかかる講習費などの提供 ・開発現場での社会的インパクト評価実践ツアーご招待 ・研修割引券 ・社会的インパクト事例についてのフィールドトリップ ・同様の（類似の）実施事業の現地・現場へのご招待 ・海外優良事例の視察 ・受賞団体が希望する他団体への訪問、SIE, SIMIに関する意見交換をアレンジし実現させる（スターターアワードの複勝に向いているかも） ・Impact Trip（海外）
評価研修等への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・SIMI関連セミナーでの積極広報 ・（インパクト・マネジメント成功事例というよりは、“経営がうまくいっている”事例として）Forbesや東洋経済などメディアでの公表および受賞者インタビュー掲載 ・YouTubeやTiktokでPU(PJ?)を紹介する ・PR Timesや新聞などのプレスリリースにて紹介する ・SIMI HPや関連サイト、セミナー資料などへの掲載、紐付け（通年で） ・審査者からのコメントを正式に自団体HPや著作物などへ載せる権利 ・ソーシャルインパクトデーで発表機会 ・どこかの雑誌で取り上げてもらえる権利 ・受賞したことがわかりやすく目に振られる者（Webサイトで消さずに残す） ・メディアの露出機会（Web、TV） ・トロフィー、ロゴやアワードのデザインセンスが一番の看板になると思うので、そこにこそお金をかけるべきと思う！ ・テレビCMなど広報やファンドレイジングで使えるメディアを無償提供 ・多くの人の目につく場所（例えば東京駅構内とか）で取り組み内容について展示ができる ・「SIMIのアワードをとったよ」というチラシを作ってあげる ・サイトに大きく掲載（団体の後方に使えれば十分かと思います。受賞マークを作っておく、とか） ・メディアとちゃんとタイアップして発信されること ・私はグッドデザイン賞のようになるべくたくさんの方、事例を表彰してほしい ・認証マーク、ロゴ
	広報支援／メディア露出機会

2. ご協力をお願い

1. アワードへの協賛・協力

- (1) アワードへの協賛（協賛金【1口5万円】の提供）
- (2) 副賞への協力（副賞費用の提供、副賞自体の提供）
- (3) その他（要相談）

2. アワード事務局への参加

アワードの企画・運営に実質的に参画いただける方を募集中

3. アワードの周知・応募

アワードの対象となる事業者様への周知

※募集要項の送付を希望する方はお知らせください。

【ご協力に関するアンケートフォーム】

<https://forms.gle/H2KAb2WyFQZjiNX96>

カテゴリー	いただいたご意見
評価・運営等に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・財団でイベントができる（会議室を借りられる） ・向こう1年間、SIMI推進のためのコンサルテーションをフリーで受けられる権利 ・アドバイスをもらえる権利 ・プロボノを受けられる ・SIMIメンバーによる社内研修の提供 ・専門家からの助言／伴走支援 ・事業運営における人材の支援（経理／営業など） ・EYさんなどによる事業に関するレポートの作成と公表 ・受賞後1年間のインパクト評価の支援 ・評価ツールをその団体仕様にカスタマイズしてあげる ・Webサイトの作成 ・優良の研修を無料で提供（SIMIメンバーで研修を実施しているところ） ・インパクトマネジメントについての受賞団体限定オンラインサロン参加権（特にスター受賞団体）1年間限定とか、期限を設ける
資金提供者・企業等への紹介／マッチング機会	<ul style="list-style-type: none"> ・インパクト投資に関心ある投資会社や銀行・財団とミーティングできる ・寄付イベントをSIMIが実施 その寄付が団体へ ・ファンドへの推薦・紹介 ・資金提供者へのプレゼンの機会提供 ・企業とのマッチング、実施場所の提供（フィールド提供） ・受賞者同士での交流会（費用負担） ・SIMIの資金提供者からの何らかの形のお金 ・取り組みのテーマに合った資金提供者（財団など）とマッチングしてもらえる ・SVP東京やサービスグラントや学生団体とのミーティングができ、プロボノ募集機会を得られる
現金・助成金	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOであれば少額の寄付 ・助成金 ・CASH
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ポストイット1年分 ・オーガニック食品 ・RIZAP体験コース ・遠隔地の団体であればアワード参加の旅費などの負担 ・Impact Food ・Impact Ticket ・指標のロゴ作成 ・企業協賛を募り、株主優待商品をリスト化、アワード受賞者が、そこから選べるようにする（実利優先）

アワードの設計に関するご意見

- ・分野ごとにランキングを作る（例えばヘルスケア部門） サイズというよりも、どれくらい具体的に進められているとか、KPI設定など。
- ・横綱とスタートアップ部門に分ける
- ・事例を活用した記事や研究などへもアワードを渡してはどうか？
- ・アワードの価値を高めるためにかっこいいロゴにしてほしい
- ・行政お墨付きの賞（その後PR効果が高まる）
- ・ルームトゥリードのインパクトレポートは参考になります
- ・12分野（ツール完了している）ごとのアワードにしても良いのではないかな？